

【支部総会報告】

43 回生同窓会 開催のご報告

埜藤眞純

令和7年4月10日(木)～11日(金)聖徳太子ゆかりの朝護孫子寺近くの信貴山観光ホテル(奈良)で第43回生(レ専校)の同窓会を開きました。昭和43年(1968年)の卒業から57年が経ちクラスメート全員が喜寿を超える年齢になっています。参加者は10名とこれまでより下回り、不参加の理由の多くは体調が優れないと言うもので、寄る年波を痛感させられました。

参加者10名は、遠くは朝来(兵庫県)、松阪(三重県)からで最寄りの王寺駅で待ち合わせ送迎バスにてホテルへ向かいました。一息ついたあと 宴会に進み、埜藤幹事の挨拶に続いて今年1月に急逝された矢木健治さん、他10名の物故者に哀悼の意を込め黙祷を捧げました。続いて、小池さんの乾杯で幕を開け酒が進むにつれクラスメートや教えを受けた山田先生・滝内校長との思い出、また自身の現況についての話が盛り上がり瞬間に時は過ぎました(皆さん歳を取っても昔のことは良く覚えている)。部屋に戻ってから話はずきずき夜が更けるのも忘れ大いに飲み語り合いました。

翌日は、埜藤の案内で桜の花びらを踏みしめながら寅でも有名な朝護孫子寺の境内を散策しました。毘沙門天王が祀られる舞台造りの本堂や様々な仏像が祀られるお堂を巡り、途中の霊宝館では日本三大絵巻の1つである信貴山縁起絵巻(国宝)について丁寧な説明を聞きました。坂道や階段が多く足並みが乱れるなか1時間強の散策でしたが名残惜しくも散会の時間となりました。

次回の開催については2年後の母校の100周年記念式典に歩調を合わせてはとの提案がありましたが、最年長の小池さんから、この歳になると明日の我が身は分らない、また43回生の親交の維持のためにも間を空けないで欲しいとの希望が出されました。皆さんの反応は前向きだったので早期に開催が実現されそうです。

43回生の皆さま、次回の開催時には奮っての参加よろしくお願ひいたします。



以上